

藤田観光株式会社

2024年12月期
第3四半期

決算説明資料

2024年11月8日
(証券コード:9722)



「箱根小涌園 天悠」

連結 損益計算書

- ・海外セールス強化策が奏功しインバウンドの受客が増加
- ・付加価値向上策の一環で推進中の商品強化策が単価アップに寄与
- ・全社における生産性向上施策により営業固定費比率が低下

➔前年比 売上高**86.2**億円増収、営業利益**39.6**億円増益

単位:百万円	2024年		2024年 3Q累計 実績	2023年 3Q累計 実績	前年比
	2Q累計実績 1~6月	3Q実績 7~9月			
売上高	35,882	18,296	54,178	45,556	+8,621
営業利益	5,123	2,556	7,680	3,715	+3,964
経常利益	5,615	2,247	7,862	4,325	+3,536
特別利益	139	-	139	628	▲488
特別損失	784	343	1,127	294	+833
税金等費用	966	495	1,461	29	+1,430
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,004	1,408	5,412	4,630	+782

売上高・営業利益 事業別内訳

- ・全事業においてADR(客室平均単価)は高い水準を維持、前年比増収
- ・ラグジュアリー&バンケット事業においては労務費増加等の影響が継続、前年比減益

単位:百万円

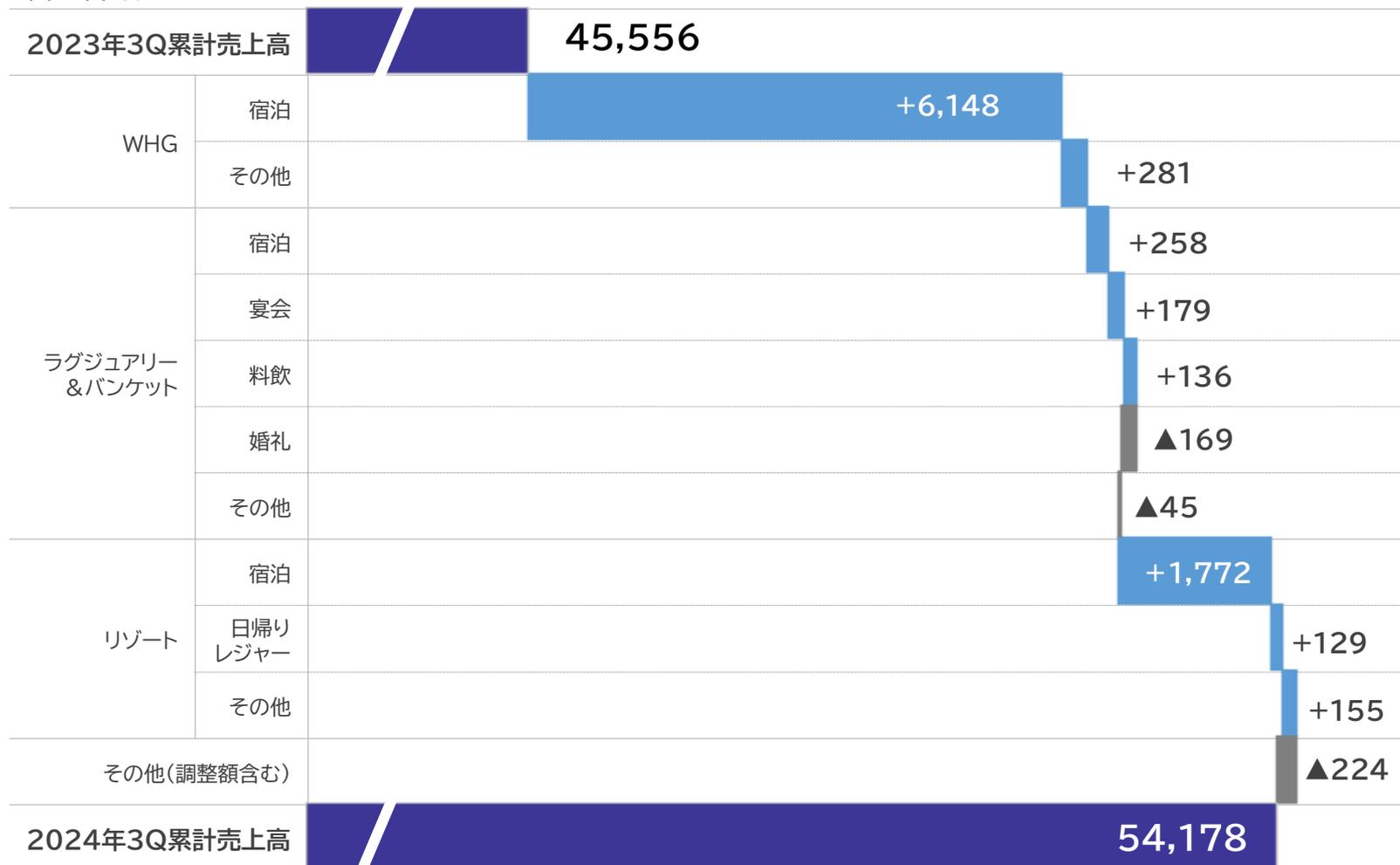
			2024年	2023年	前年比
	2Q累計実績 1~6月	3Q実績 7~9月	3Q累計 実績	3Q累計 実績	
売上高	35,882	18,296	54,178	45,556	+8,621
WHG事業	21,416	11,185	32,602	26,173	+6,429
ラグジュアリー&バンケット事業	8,970	3,653	12,624	12,265	+359
リゾート事業	4,889	3,163	8,052	5,995	+2,057
その他(調整額含む)	605	293	898	1,123	▲224
営業損益	5,123	2,556	7,680	3,715	+3,964
WHG事業	4,331	2,379	6,711	3,480	+3,230
ラグジュアリー&バンケット事業	577	▲364	213	419	▲206
リゾート事業	182	573	756	76	+680
その他(調整額含む)	31	▲32	▲0	▲261	+260

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2023年のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績

売上高 一部門別増減

- ・ADRが上昇したWHG事業 宿泊部門が牽引
- ・リゾート事業 宿泊部門では2023年7月開業の「箱根ホテル小涌園」が前年比増収に寄与
「箱根小涌園 天悠」もADRの上昇が継続

単位:百万円



営業利益 一要因別増減

- ・労務費(新規採用、賃金引上げなど)、地代家賃の増加影響はあるものの、引き続き、各事業の限界利益の増加が大きく上回る
- ・構造改革により営業固定費比率はコロナ禍前と比較し低下

単位:百万円

2023年3Q累計 営業利益		3,715
増収による限界利益増加	WHG	+4,929
	ラグジュアリー & バンケット	+282
	リゾート	+1,483
	労務費増加	▲1,526
	地代家賃増加	▲652
	減価償却費増加	▲232
	その他費用増加	▲319
2024年3Q累計 営業利益		7,680

営業固定費比率(対売上高)

✓ コロナ前と比較し低下

2019年 3Q累計 76.5%



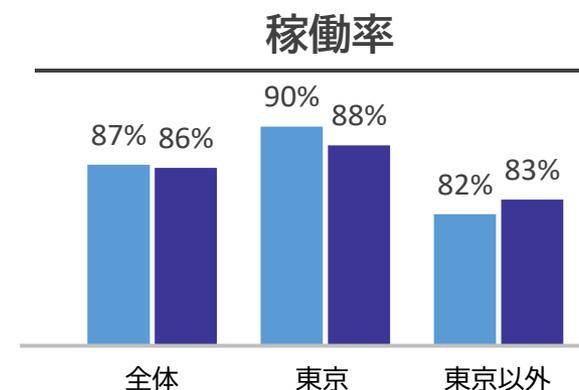
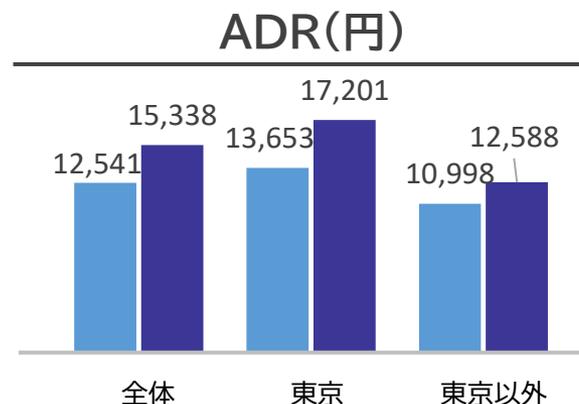
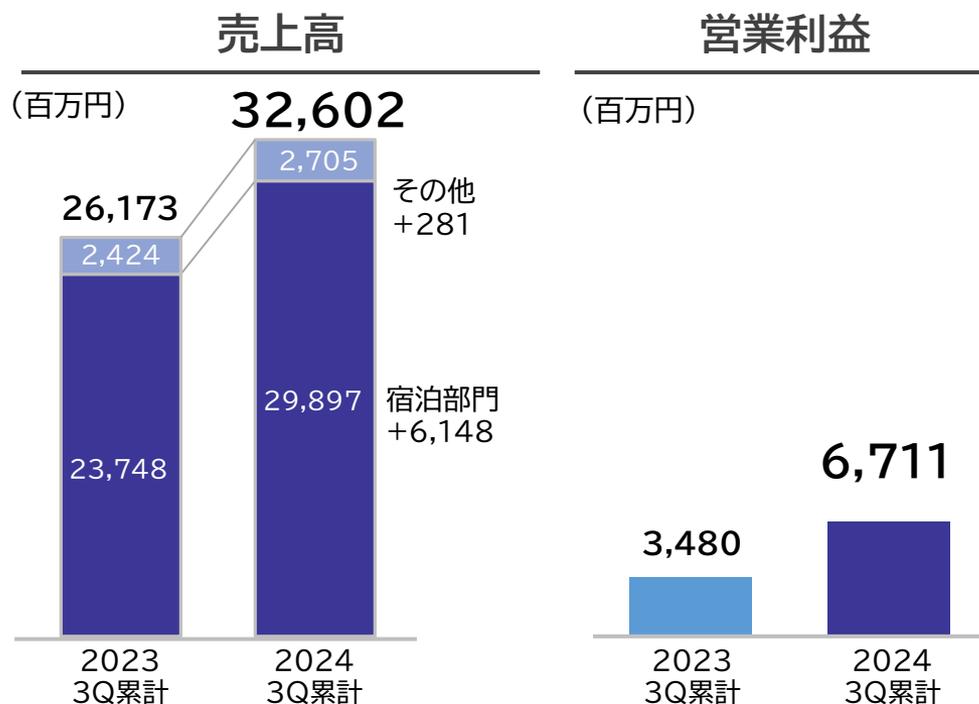
2023年 3Q累計 69.1%



2024年 3Q累計 63.1%

事業全体で前年比64.2億円増収、32.3億円増益

- ・ADR重視での販売施策を継続、稼働率は前年を下回るもRevPAR(ADR×稼働率)は前年比プラス
- ・欧米豪のほかアジアも含めた海外セールスが奏功し、インバウンド宿泊者数が増加、ADR上昇に寄与
- ・地方事業所への送客も含め、事業全体で高まるインバウンド需要を獲得
- ・客室等の改装のほか、チェーン全体での朝食内容の更なる充実による商品力強化施策を実施



✓ 宿泊部門+6,148百万円のうちADR上昇効果は+5,396百万円

※ 組織変更により営業施設の属するセグメントを一部変更しているため、2023年のセグメント別情報は変更後のセグメント区分に組替えた実績
 ※ 2023年2月未まで「ホテルグレイスリー新宿」は行政へ提供(一棟貸し)
 ※ 2024年4月1日より、「新宿ワシントンホテル ANNEX(別館)」(337室)を直営事業所として営業開始

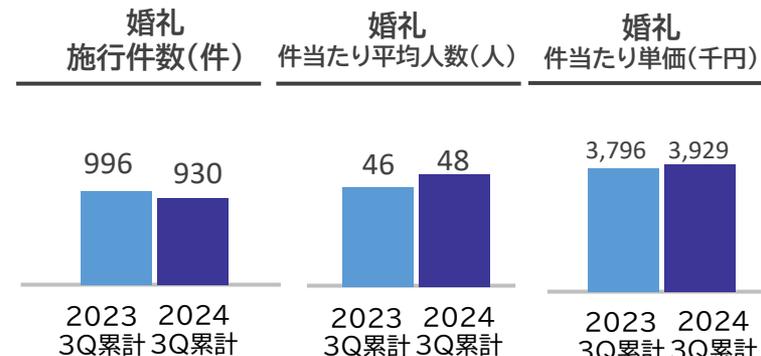
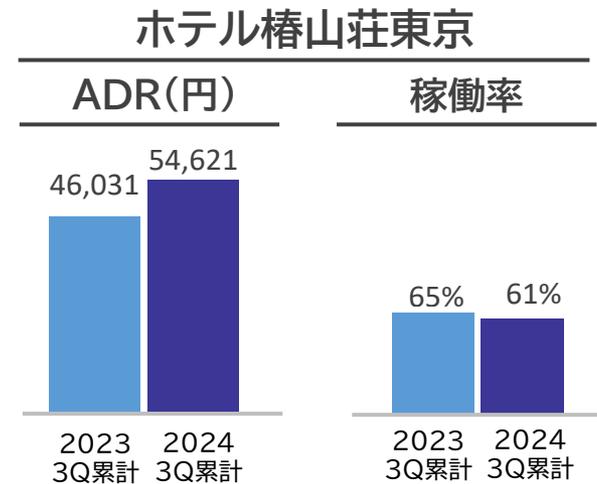
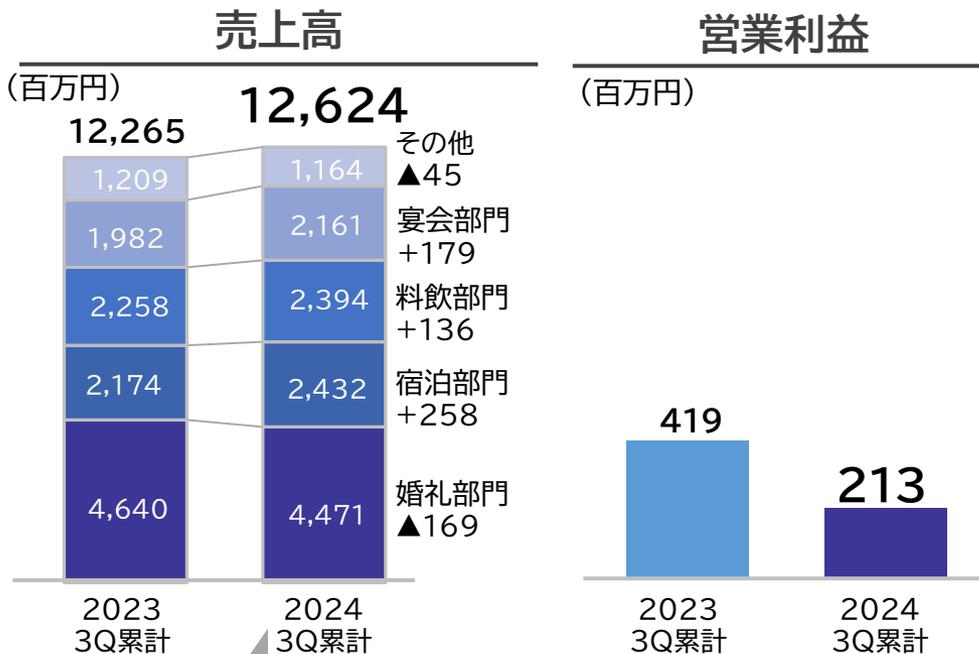
※ 営業指標はサービスアパートメントISORAS CIKARANGを除く

ラグジュアリー&バンケット事業

事業全体で前年比3.5億円増収、2.0億円減益

「ホテル椿山荘東京」

- ・各部門で商品の付加価値を高め利用単価を引き上げたことにより、事業所全体では前年比増収
- ・2024年7月26日よりスイートルームゲスト専用エグゼクティブラウンジの運用を開始
- ・婚礼部門は件当たり平均人数および単価が増加するも、件数の減少を補いきれず減収
- ・労務費増加等の影響もあり前年比減益



「ホテル椿山荘東京」

- ✓ 婚礼部門▲169百万円
施行件数前年比マイナス、件当たり平均人数、件当たり単価は前年比プラス
- ✓ 料飲部門・宴会部門
利用人員が前年比で増加、料飲部門+3.4%、宴会部門+4.0%
- ✓ 宿泊部門+258百万円
ADR上昇効果は+371百万円
稼働率は前年比マイナスとなるも、RevPAR(稼働率×ADR)が上昇

※婚礼施行件数、件当たり人数・単価は
挙式のみを施行件数含まず算出

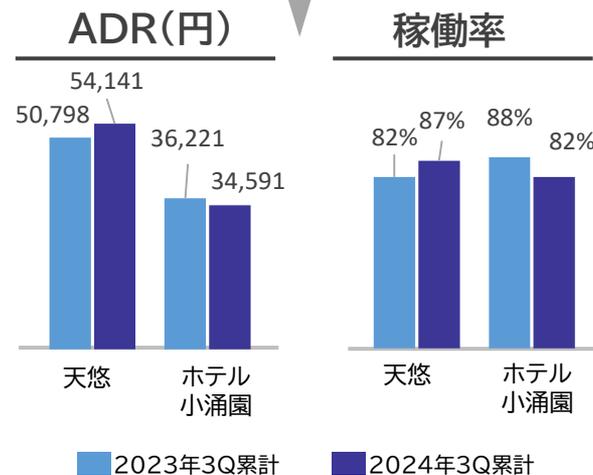
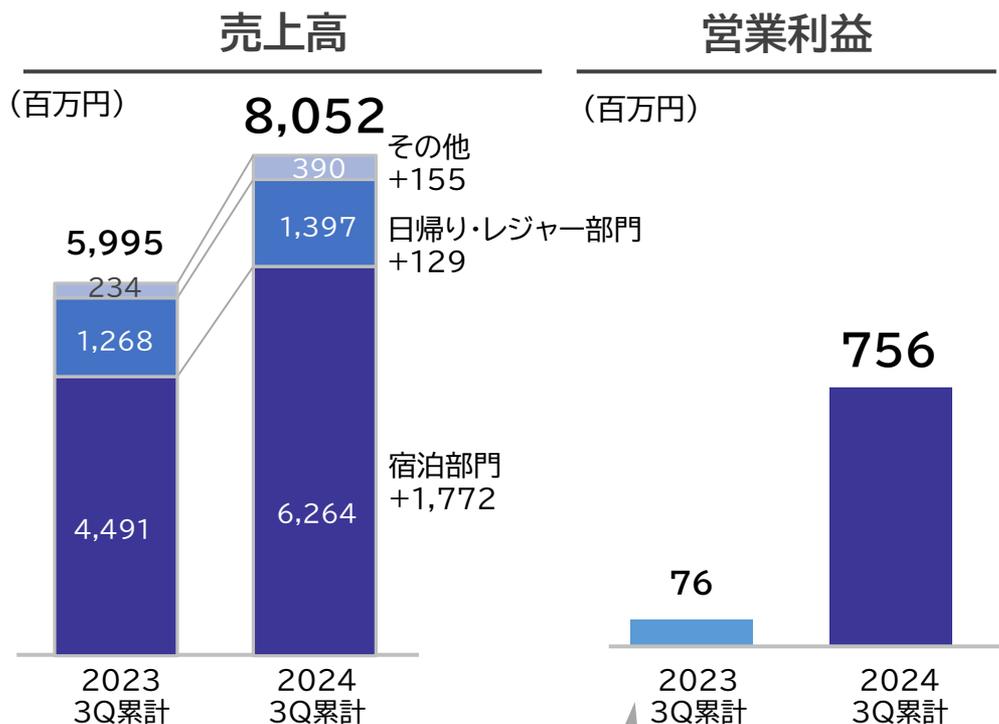
リゾート事業

事業全体で前年比**20.5億円増収**、**6.8億円増益**

- ・宿泊部門・レジャー部門ともに夏季需要を取り込み前年比増収増益
- ・「箱根小涌園 天悠」での高付加価値商品の販売に引き続き注力、ADRも上昇継続
- ・「箱根小涌園ユネッサン」においては「箱根ホテル小涌園」からの回遊とリニューアル効果で入場人員増加
- ・宿泊部門全体においてインバウンド比率も前年比プラス

※箱根ホテル小涌園:2023年7月開業

✓「箱根ホテル小涌園」においても、3Q(7~9月)では前年比プラス(ADR+3,500円、稼働率+4%pt)



ユネッサン入場人員(千人)



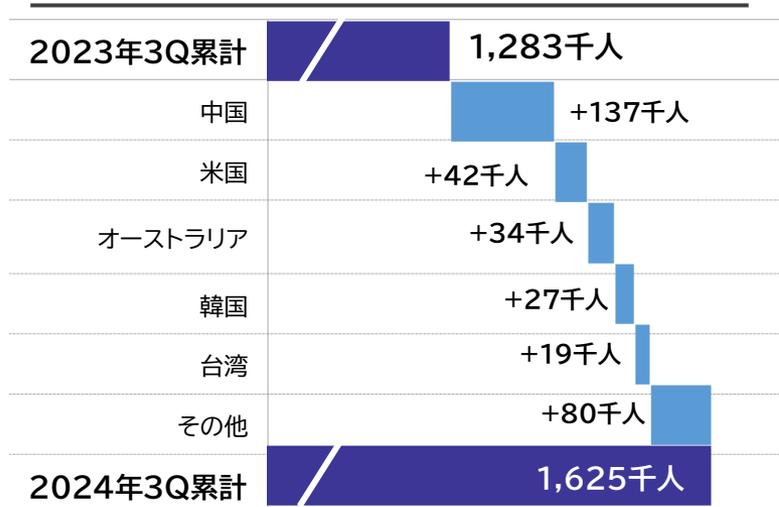
✓ 2023年は「箱根ホテル小涌園」開業コストあり

✓ 宿泊部門+1,772百万円のうち、箱根小涌園エリアで+1,066百万円
「箱根ホテル小涌園」の開業や「箱根小涌園 天悠」のADR上昇効果など

インバウンドの状況

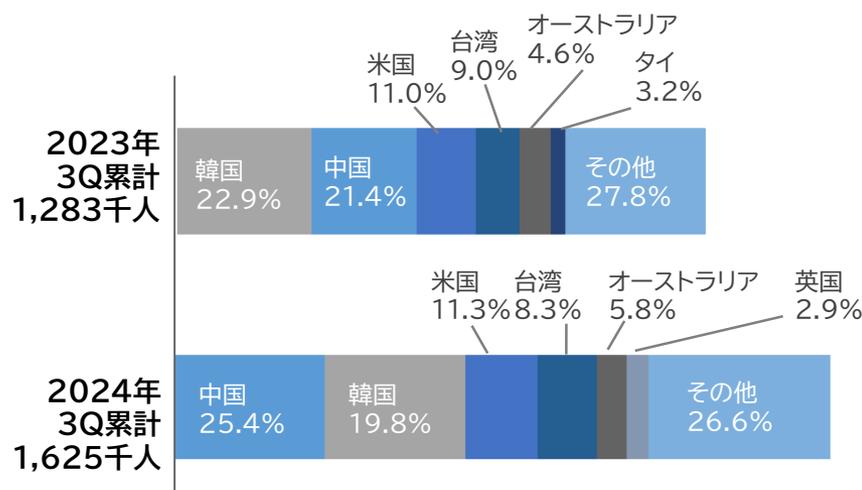
	2024年3Q累計実績	前年比
インバウンド宿泊者数(国内事業所のみ)	1,625千人	+26.7%
総宿泊者数(国内事業所のみ)	3,147千人	+10.2%
インバウンド比率	51.6%	+6.7%pt
WHG全体	53.6%	+7.2%pt
ホテルグレイスリー新宿	93.9%	+4.3%pt
新宿ワシントンホテル(本館・ANNEX)	68.0%	+3.9%pt
ホテル椿山荘東京	35.9%	+3.6%pt
箱根小涌園 天悠	50.9%	+9.8%pt
箱根ホテル小涌園	15.5%	+12.6%pt

インバウンド宿泊者数 国別増減



※中国の数値に香港からの宿泊者数を含む

インバウンド宿泊者数 国別シェア



※2023年3Qは1,283千人を、2024年3Qは1,625千人を100%とした場合

貸借対照表

- ・2024年8月23日にA種優先株式100株のうち40株を償還
- ・純資産は前期末比10.4億円増加の270.2億円

単位:百万円		2024年 9月末	2023年 12月末	増減
流動資産		20,944	21,293	▲348
固定資産		72,275	72,202	+72
資産合計		93,219	93,496	▲276
流動負債		29,843	30,365	▲522
固定負債		36,354	37,156	▲802
負債合計		66,197	67,521	▲1,324
純資産合計		27,022	25,974	+1,048
負債純資産合計		93,219	93,496	▲276
自己資本比率		29.0%	27.8%	+1.2%pt
借入金合計		37,286	40,021	▲2,734

営業指標推移

		2023年				2024年		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
WHG 全体	稼働率	84%	88%	88%	90%	86%	86%	87%
	ADR	10,821円	13,083円	13,487円	14,473円	14,849円	15,774円	15,375円
WHG 東京	稼働率	89%	91%	90%	92%	90%	88%	88%
	ADR	11,567円	14,428円	14,612円	16,096円	16,920円	17,791円	16,884円
WHG 東京以外	稼働率	78%	83%	85%	87%	82%	83%	86%
	ADR	9,853円	11,123円	11,909円	12,213円	11,847円	12,728円	13,158円
ホテル 椿山荘東京	稼働率	65%	72%	58%	70%	53%	70%	59%
	ADR	42,660円	45,527円	50,335円	52,535円	55,437円	54,705円	53,747円
箱根小涌園 天悠	稼働率	83%	79%	85%	91%	89%	87%	85%
	ADR	48,575円	50,630円	53,090円	55,456円	54,102円	53,113円	55,218円
箱根ホテル 小涌園	稼働率	2023年7月12日開業		88%	77%	73%	81%	92%
	ADR			36,221円	32,918円	32,791円	30,371円	39,721円
ホテル 椿山荘東京	婚礼施行件数	271件	436件	289件	566件	282件	385件	263件
	婚礼件当たり単価	3,675千円	3,948千円	3,679千円	3,706千円	4,044千円	3,868千円	3,894千円
	婚礼件当たり平均員数	44人	49人	45人	45人	49人	48人	46人
箱根小涌園 ユネッサン	入場人員	75千人	70千人	208千人	94千人	107千人	97千人	204千人

施設一覧(2024年11月8日現在)

WHG事業				リゾート事業		ラグジュアリー&バンケット事業	
《宿泊》 35拠点 11,041室				《宿泊》11拠点 553室		《宿泊》 1拠点 265室	
■ワシントンホテル (20拠点 6,619室)		■ホテルグレイスリー (10拠点 3,198室)		箱根小涌園 天悠	150室	ホテル椿山荘東京 265室	
仙台	223室	札幌	440室	箱根ホテル小涌園	150室	《婚礼》 3拠点	
新宿(本館、ANNEX)	1,617室	銀座	270室	箱根小涌園 三河屋旅館	25室	Share Clapping(広島県)	
秋葉原	369室	田町	216室	箱根小涌園 美山楓林	15室	ルメルシエ元宇品(広島県)	
東京ベイ有明	830室	浅草	125室	伊東小涌園	50室	ザ サウスハーバーリゾート(広島県)	
横浜桜木町	553室	新宿	970室	伊東 緑涌	7室	《レジャー》 1拠点	
浦和 (2025年8月31日 営業終了予定)	140室	京都三条(北館・南館)	225室	藤乃煌 富士御殿場	24室	カメラアヒルズカントリークラブ(千葉県)	
広島	266室	大阪なんば	170室	永平寺 親禅の宿 柏樹閣	18室	《レストラン》 2拠点	
キャナルシティ・福岡	423室	那覇	198室	湯河原温泉ちとせ【MC】	38室	東京大学伊藤国際学術研究センター内 レストラン【MC】	
山形七日町【FC】	213室	ソウル	336室	ホテルやまなみ【MC】(山梨県)	26室	明治大学 紫紺館 フォレスト椿山荘【MC】	
山形駅西口【FC】	100室	台北	248室	十和田ホテル【業務提携】	50室		
会津若松【FC】	154室			《レストラン》 3拠点			
郡山【FC】	184室	■ホテルフジタ(1拠点 354室)		レストランあかしあ亭(秋田県)			
いわき【FC】	148室	福井【FC】	354室	箱根小涌園 蕎麦 貴賓館		FC:フランチャイズ方式 所有と経営・運営ともにオーナー企業に帰属し、当社はブランド使用権の貸与と運営を指導 MC:マネジメントコントラクト方式 所有と経営はオーナー企業に帰属し、当社は運営を受託	
立川【FC】	170室			箱根小涌園 鉄板焼・しゃぶしゃぶ 迎賓館			
木更津【FC】	146室	■ホテルタビノス(3拠点 656室)		《レジャー》 5拠点			
燕三条【FC】	103室	浜松町	188室	箱根小涌園 ユネッサン			
関西エアポート【FC】	504室	浅草	278室	箱根小涌園 元湯 森の湯			
関西泉大津【FC】	151室	京都	190室	箱根小涌園キャンプ&スパ 山の音			
宝塚【FC】	135室			Fuji Camp Base煌(藤乃煌 富士御殿場 敷地内)			
佐世保【FC】	190室	■サービス・アパートメント(1拠点214室)		下田海中水族館			
		ISORAS CIKARANG	214室				
		イソラス チカラン(インドネシア)					

上場取引所	東京証券取引所プライム市場	
社名	藤田観光株式会社	
証券コード	9722	
単元株式数	普通株式 100株	
	A種優先株式 1株	
事業年度	毎年1月1日～12月31日	
基準日	12月31日	
配当金支払株主確定日(普通株式)	12月31日および中間配当を実施するときは6月30日	
定時株主総会	毎年3月	
発行済株式の総数	普通株式 12,207,424株	計 12,207,484株
	A種優先株式 60株	
発行可能株式総数	普通株式 44,000,000株	計 44,000,150株
	A種優先株式 150株	
決算期	毎年12月31日	

IR担当部門（お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画本部 経営企画部

TEL : 03-5981-7722

<https://www.fujita-kanko.co.jp/ir/index.html>

注意事項：

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、注記を行っている場合を除き、2024年9月30日現在のデータに基づいて作成しております。

尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。

当資料の転載はご遠慮ください。